

「せき市民防災フェア2026」に参加しました

令和8年7月5日（日）、関市のわかくさプラザ 学習情報館・関市役所 市民広場にて開催された「せき市民防災フェア2026」に参加しました。関市は平成30年7月豪雨で津保川が氾濫し、甚大な被害を受けています。

当協会は、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風AI語り部との対話体験、AI水防災カードクイズ、竜巻・雲をつくるペットボトル実験などを行いました。

AI語り部との対話体験では、「台風はなぜ危ないのですか?」「被害の大きかった地域はどこですか?」などと質問をし、カードクイズでは、避難行動を親子や友人と真剣に考えて回答していました。また、VR体験者からは「映像がリアルで怖さが伝わってとても勉強になりました。」などの感想をいただきました。

子供たちには竜巻・雲をつくる実験が特に大人気で、何度もブースに立ち寄ってくれるリピーターがいるほどでした。

今後も地域防災力向上のため、多様な機関と連携した取り組みを進めてまいります。

